

1 熊本城復旧基本計画（2023年3月改定）

計 画 期 間

3 5 年（～2052年度）

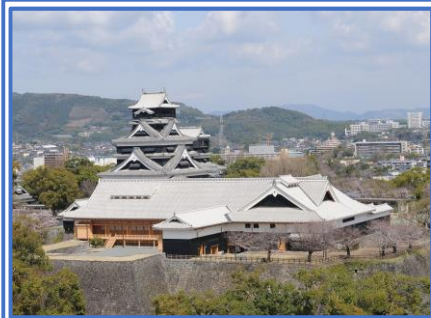
主 要 施 策

計画15年目（2032年度）

宇土櫓、本丸御殿の復旧完了



宇土櫓



本丸御殿

計画25年目（2042年度）

全ての重要文化財建造物及び主要区域の復旧完了



計画26年目（2043年度）

～35年目（2052年度）

見学通路撤去・主要区域以外の工事
と新たな整備計画検討の並走

熊本城主要区域の復旧完了

特別見学通路の撤去

主要区域以外の
工事の実施

新たな整備計画の検討

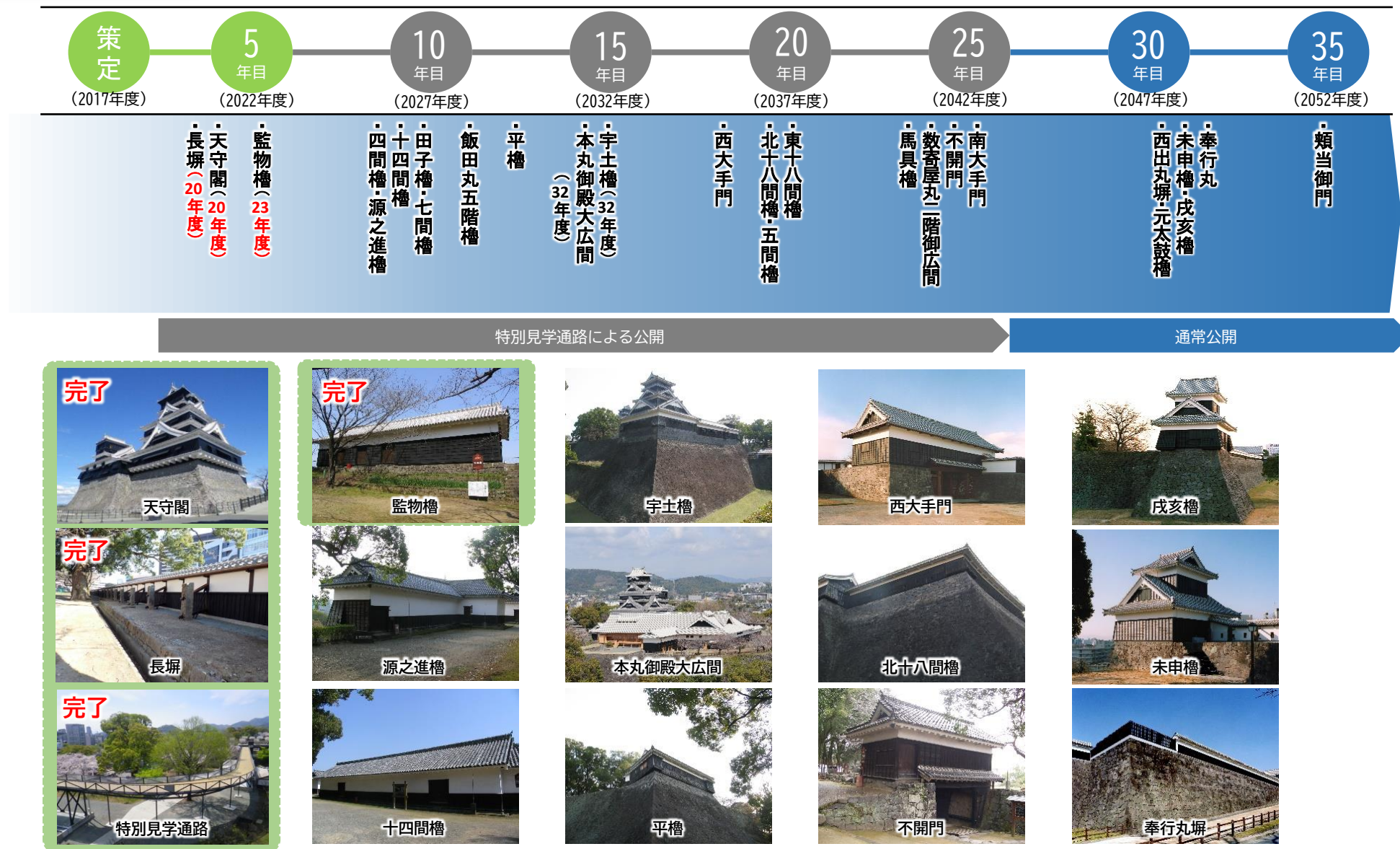
新たな整備計画の開始

- ✓石垣・建造物の計画的復旧
- ✓復旧過程の公開等を踏まえた段階的復旧
- ✓復旧過程の文化・観光資源としての活用
- ✓耐震化等安全対策に係る最新技術・現代工法の検討
- ✓熊本城調査研究の推進
- ✓将来にわたる継続的な復旧を支える人づくり
- ✓確実な復旧財源の確保

熊本城復旧事業 及び 公開状況について

復旧工程

<主な建造物の復旧計画>



熊本城復旧事業 及び 公開状況について

2 熊本城の復旧状況

令和5年度主要な復旧工事の状況



令和5年12月復旧完了

国指定重要文化財建造物としては「長堀」に続く復旧2棟目



令和6年1月石垣復旧

奇跡の1本石垣と呼ばれた石垣の積み直しが完了
令和7年度から五階櫓の復旧工事に着手し、令和10年度(2028年度)復旧予定



櫓解体保存工事实施中

令和5年12月までに素屋根の設置が完了し、五階櫓の解体保存に着手
令和7年度(2025年度)解体保存工事完了予定

令和6年度主要な復旧工事予定



石垣復旧工事着手

本丸下段北側に位置する石垣で令和7年度(2025年度)石垣復旧予定
その後、平櫓の復旧(設計、工事)に移行する予定



櫓復旧工事着手

城域の南東側に位置する櫓群で、2棟が全解体、3棟が半解体による修理
令和10年度(2028年度)復旧予定



櫓解体保存工事(継続)

解体保存工事に2年、その後櫓の復旧設計に2年、復旧工事(櫓組立)に5年の計9年を要する
令和14年度(2032年度)復旧予定

熊本城復旧事業 及び 公開状況について

3 熊本城の公開状況

天守閣復旧完了に伴い、特別公開第3弾として熊本城有料エリア内のルートを開示し内外から多くの方々に入園いただいている。

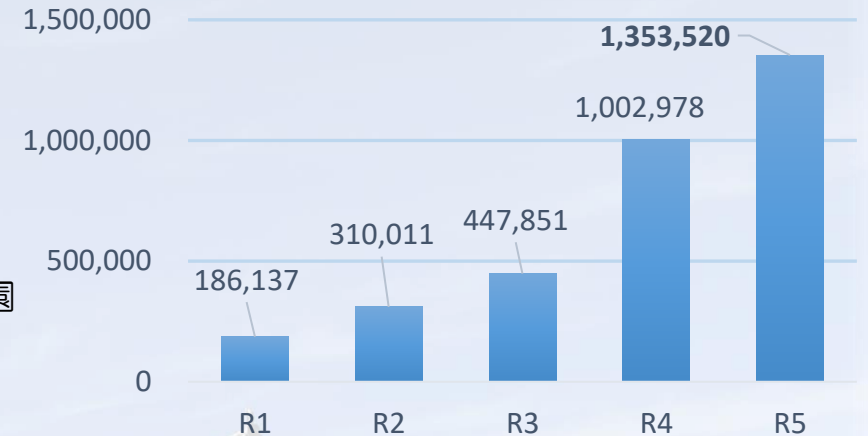
■ 公開ルート：特別見学通路～天守閣（内部公開）～西出丸

※北口は宇土櫓の工事に伴い、土日・祝日のみ開門

■ 実施期間：令和3年（2021年）年6月28日～現在

※2021年8月2日～9月30日は新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園

■ 入園者数：令和5年度（2023年度）：1,353,520人



4 熊本城復旧への寄付金

◎熊本城災害復旧支援金（平成28年4月21日開始） 約26億円

◎復興城主（平成28年11月1日開始） 約32億3千万円

合 計 約58億3千万円

（令和6年3月31日現在）

